

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年7月13日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	------------	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(特非)たびびと	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所在地	高知市小津町6-4		
業務内容	<p>・施設の利用の許可に関すること                  ・施設及び設備の維持管理に関すること                  ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること                  ・主催事業を計画し、実施すること</p> <p>&lt;令和元年度主催事業&gt;                  ・ボランティアのための読み聞かせ教室 ・大人のための絵本読み聞かせ ・卓球教室 ・HELLO WORLD世界の国からこんにちは ・電気の不思議を楽しもう！ ・宇宙は何からできているんだろう？ ・ボランティア事始め ・小学生のためのアナウンサーキャスター体験 ・脳の百歳体操 ・声優講座 ・美しいペン字 ・オカリナ教室 ・秋の朗読発表会 ・筆ペン字 ・年賀状に役立つ消しゴムハンコ教室 ・身近な動物たち ・なわない・わりリースづくり ・クリスマスコンサート ・あしなが募金チャリティーバザー ・本の譲渡会 ・将棋大会 ・高知城英語ガイド講座 ・ダイヤモンドクロッシング ・声優ステップアップ                  ・Asobo-ya(あそぼーや)</p>		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより、青少年の社会性を養うとともにその健全な育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:鉄筋コンクリート5階 延べ1,597.17㎡                  施設概要:駐車場、駐輪場(1階)                  事務室、少年サポートセンター(事務室、相談室、面接室)(2階)                  教育相談研究所(事務室)、小中PTA連合会(事務室)、会議室、共用相談室、音楽スタジオ(3階)                  まんが図書館、学習室、トークサロン、やまもも(事務室)                  PRINK思春期相談センター(事務室、相談室等)(4階)                  多目的室、倉庫(5階)</p>		
職員体制	職員:館長1名 チーフ1名 会計1名 事務員4名 合計:7名		

## 2 収支の状況

(単位:円)

		H30年度(決算)	R01年度(決算)	R02年度(予算)
収入	県支出金	18,829,000	20,211,000	20,236,000
	事業費収入	251,005	268,055	257,000
	収入計	19,080,005	20,479,055	20,493,000
支出	事業費	1,040,080	991,807	1,048,000
	管理運営費	7,643,140	7,460,128	7,526,000
	人件費	9,188,033	10,758,322	11,016,000
	消費税	601,000	721,000	903,000
	支出計	18,472,253	19,931,257	20,493,000
使用料収入		497,024	953,880	591,000

### 3 利用実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
利用者数	28,004			22,010	31,926	27,313

H28～H29年度は閉館中であり、H30.6.17リニューアルオープン

### 4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の要望を積極的に取り入れ、ニーズに応えようとする取組は評価できる。</li> <li>・小学生から高校生までのニーズをより把握するため、来館・非来館者双方からのニーズの聞き取りが必要だ。</li> <li>・施設の理念と施設利用者の特徴に配慮した事業を展開していることは評価できる。</li> <li>・PR活動のメインはチラシ配布であるが、HP、ツイッターで図書についての発信も始めた。</li> <li>・受付対応を重視し、気持ちの良い声掛けを意識している。</li> <li>・プラザを拠点として活動するサークルの育成に取り組んだ。</li> <li>・寄贈された本を原資として古本市や本の譲渡会に取り組んだ結果、古本市も譲渡会も大変評判がよく、新しい利用者層の開拓につながった。</li> <li>・青少年の多様な体験学習を促進する個性的な主催事業の充実、自学・主体的な活動の場及び生涯学習の場として全ての人が学び安らぐ居場所として日々努力を続けている。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習室の利用人数制限によって、子どもたちの学びの場が損なわれていないか、心配である。</li> <li>・利用者ニーズの変化に応えるため「検索エンジンで引かかる様に検索キーワードをホームページに設定すること」が必要である。</li> <li>・ご意見箱への返事を毎月作成し、受付横に張り出している。季節感のあるイラストが添えられており、来館者の目に留まりやすい工夫がされている。利用者からも良い意見が出されており、運営に生かせるものとなっている。</li> <li>・先進地視察を行い、職員教育に努めている。</li> </ul>
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時の避難誘導と防災組織の役割分担に不安がある。</li> <li>・職員、パートが変則勤務のため、連絡事項は文書による回覧確認厳守とし、業務を始める前には必ず日報に目を通し、来館者に対する案内・依頼・注意・整備・美化を平準化させるようにしている。1時間ごとの見回り及び月1回の定期点検、自転車置き場の安全確認と整頓を実施している。</li> </ul>
④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーテピアとの連携による相乗効果を期待する。</li> <li>・利用者30,000人超えの目標を持ち、学習室の利用を増やすための声掛けを心掛けている。定期テストの際は、4階学習室の机を増やしたり、会議室や多目的室も利用するなど、勉強しやすい環境を整えた。こうした取組が年間31,926人の利用につながった。</li> </ul>

⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営費は予算額9,776,000円に対して、決算額は7,460,128円であり、LED効果などにより節約が図れた。</li> <li>・人件費は予算額9,200,000円に対して、決算額は10,758,322円であり、予算より1,558,322円多かった。</li> <li>・予算と実績の差が大きく、運営の不安定さを感じる。</li> </ul>		
総合評価	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="424 461 501 624">B</td> <td data-bbox="501 338 1479 624"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居団体すべてに鍵台帳の作成を依頼し、鍵の所在を明確にするよう努めている一方で、機械警備上のトラブルがなくなっていない。不特定多数の方が来館される場所であるため、館の運営に一致団結して取り組めるような体制が望まれる。</li> <li>・複数の入居団体と年度当初警備や緊急時の対応等についてきちんと話し合うことが必要である。(特にプラザが休館の日の開館について)</li> <li>・青少年教育施設として仕様書に定めた内容や目標はおおむね達成しているが、入居団体と警備や緊急対応について話し合う場を設け、改善に取り組んでほしい。</li> </ul> </td> </tr> </table>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居団体すべてに鍵台帳の作成を依頼し、鍵の所在を明確にするよう努めている一方で、機械警備上のトラブルがなくなっていない。不特定多数の方が来館される場所であるため、館の運営に一致団結して取り組めるような体制が望まれる。</li> <li>・複数の入居団体と年度当初警備や緊急時の対応等についてきちんと話し合うことが必要である。(特にプラザが休館の日の開館について)</li> <li>・青少年教育施設として仕様書に定めた内容や目標はおおむね達成しているが、入居団体と警備や緊急対応について話し合う場を設け、改善に取り組んでほしい。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居団体すべてに鍵台帳の作成を依頼し、鍵の所在を明確にするよう努めている一方で、機械警備上のトラブルがなくなっていない。不特定多数の方が来館される場所であるため、館の運営に一致団結して取り組めるような体制が望まれる。</li> <li>・複数の入居団体と年度当初警備や緊急時の対応等についてきちんと話し合うことが必要である。(特にプラザが休館の日の開館について)</li> <li>・青少年教育施設として仕様書に定めた内容や目標はおおむね達成しているが、入居団体と警備や緊急対応について話し合う場を設け、改善に取り組んでほしい。</li> </ul>		

- 【評価の目安】
- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。